

このたび、ウィンブルドン特別号と致しまして、月刊テニスクラシック・ブレイクが配信するホットな大会情報を速報で毎日配信致します！
(配信期間:2010/6/22~7/5) HEAD契約選手の試合情報や、現地取材中の編集部員がお届けする大会裏情報などもあわせて配信していく予定ですので、どうぞご期待ください！

Wimbledon HEADLINE NEWS

THE CHAMPIONSHIPS WIMBLEDON
June 21 - July 6, 2010

男子テニス界の大きな変換点となった 2010ウィンブルドン！

大会13日目の7月4日、男子シングルス決勝がセンターコートで行われ、第2シードのナダル（スペイン）がストレートで第12シードのベルディッチ（チェコ）を破り、2年ぶり2度目の優勝を飾りました。

さて、今年のウィンブルドン振り返ってみると、2年連続7回目の優勝を狙っていたフェデラー(スイス)が準々決勝でベルディッチに敗れたことが現地でも話題になりました。フェデラーは先のフレンチオープンでも準々決勝でソダーリン(スウェーデン)に負けており、この2つのグランドスラムでの王者の早期敗退は、世代交代を印象付けるものとなったからです。

しかし、実際に現地でフェデラーのプレーを見てみると、フェデラーのテニスが衰えたわけではありません。これまでパワーはあったもののテクニックではフェデラーに及ばなかった選手が、様々な経験を積むことでフェデラーに対抗するための術を身につけてきたのです。今回のウィンブルドンでベスト8以上に進出してきたHEAD契約プレーヤーが、これからの男子テニス界をますますおもしろくしてくれるはずですよ。

HEAD契約プレーヤーが証明！これからはパワー&コントロール両立の時代へ!!



©月刊テニスクラシック・ブレイク

ノバク・ジョコビッチ (セルビア)

BEST 4

第3シードをしっかりと守ってのベスト4。盤石のグラウンドストロークを軸に、相手の意表を突くドロップショットなど、緩急自在なテクニックをこのウィンブルドンでも披露。ランキングもNo.2に浮上し、いよいよトップを照準に捕らえました。

ジョコビッチ選手使用モデル: Youtek™ Speed Rro

アンディー・マレー (イギリス)

BEST 4

第4シードを守り昨年に続くベスト4進出。優勝したナダルに準決勝で敗れたものの、コートの広さを生かした精度の高いショットで、初のグランドスラムタイトル、そして地元ウィンブルドン優勝に向けて着実に成長したテニスを見せてくれました。

マレー選手使用モデル: Youtek™ Radical MP



©月刊テニスクラシック・ブレイク



©月刊テニスクラシック・ブレイク

ロビン・ソダーリン (スウェーデン)

BEST 8

全仏オープン準優勝の底力を発揮し、まったく異なるサーフェスであるこのウィンブルドンでも第6シードをもってベスト8進出。破壊力に満ちたサーブ、そしてグラウンドストロークは、対戦相手にとって脅威となりました。

ソダーリン選手使用モデル: Youtek™ Radical MP

イエン・スーン・ルー (チャイニーズタイペイ)

BEST 8

なんとノーシードからのベスト8進出。コートを小さく感じさせる俊敏なフットワークと攻撃的なグラウンドストロークで3回戦まで失セット0。そして4回戦では、昨年準優勝のロディック（アメリカ）をフルセットで下し、ウィンブルドンの観衆に強烈な印象を残しました。

ルー選手使用モデル: Youtek™ Extreme Pro



©月刊テニスクラシック・ブレイク

来年は新しいNo.3、4コートが完成！ 伝統を重んじながらも進化するウィンブルドン



©月刊テニスクラシック・ブレイク

リニューアル告知と完成予想図ポスター

昨年はセンターコートに開閉式の屋根が設置され、新しいNo.2コートも完成するなどリニューアルが進んでいるウィンブルドンですが、来年はさらに新しいNo.3、4コートが完成の予定。No.3コートは2,000席を擁するオープンボールスタジアム型ということで、蔭が絡まり伝統と格式を感じさせるセンターコートを中心に、会場内には個性豊かなスタジアムコートが点在することになります。

さて、2011年のウィンブルドンではいったいどんなドラマが生まれるのか!? 今から楽しみです!!



©月刊テニスクラシック・ブレイク

男子シングルス決勝の試合結果

・ナダル(スペイン) ○ 6-3,7-5,6-4 X ベルディッチ(チェコ)